

「福岡アイランドシティ照葉のまちづくり」が 「2018年アジア都市景観賞」を受賞

積水ハウス株式会社は、10月15日に福岡市及び関係団体と共に※公民学連携により事業を進めてきた「福岡アイランドシティ照葉のまちづくり」で、「2018年アジア都市景観賞」を受賞しました。

アジア都市景観賞は、国連ハビタット福岡本部、アジア人間居住環境協会、アジア景観デザイン学会、福岡アジア都市研究所の4団体が主催しています。アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目的に、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市・地域・事業等を表彰するもので、2010年から表彰が実施されています。

当社の本表彰受賞は2010年に、福岡市「シーサイドももち整備事業（海浜公園）」が受賞して以来、2回目となります。

「2018年アジア都市景観賞」では、アジア8カ国から49件の応募があり、受賞は15件（うち国内4件）でした。今回の受賞で評価を受けた点は、以下のとおりです。



アジア都市景観賞

- 「環境共生」「健康」「みんなで関わる」3つの基本方針に基づくまちづくり
- 「自然」「コミュニティ」「健康」「安全」「省CO₂」の取組みから生まれた景観



博多湾東部に位置する「アイランドシティ」は、2005年にまちびらきをし、福岡市の中心部や福岡空港に直結する都市高速道路から近く、スムーズにアクセスが可能な立地にあります。福岡市のマスタープランに基づき、環境と共生し快適な居住環境や新しい産業集積拠点を形成する先進的な都市づくりを進めるとともに、アジア・世界とつながる最先端コンテナターミナルと一体になった国際物流拠点の形成を図る地区として位置付けられ、福岡市と積水ハウスが中心となり、公民学連携によるまちづくりを行った事が評価されました。

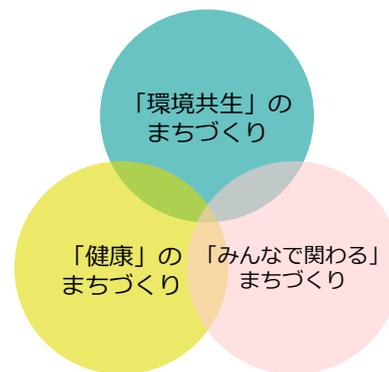
今後は次世代につなぐIoTや芸術文化の充実したまちづくりを推進していきます。

※ 福岡市、積水ハウス株式会社のほか、事業に関わった多数の企業や大学を指し、広くは住民も含まれます。

受賞の評価について

<3つの基本方針に基づくまちづくり>

- 「環境共生」のまちづくり : ウォーターフロントの特性を生かす
- 「健康」のまちづくり : 安全、安心で快適に暮せる
- 「みんなで関わる」まちづくり : 良好な地域コミュニティが形成される



<まちづくりの成果>

- 「自然」 先進的な都市でありながら水と緑を身近に感じる環境



緑あふれるまちなみ



外周緑地

- 「コミュニティ」 公民学連携によるコミュニティづくり



交流イベント



教育イベント（まちな学校）

- 「健康」 自然を感じ、楽しくアクティビティに、健やかに過ごせる日常



スロージョギング



おそとりピング

- 「安全」 ユニバーサルデザインやタウンセキュリティによる安全安心のまち



ユニバーサルデザイン



タウンセキュリティ

■ 「省CO₂」 先進的なエネルギー環境を整備したスマートシティ

照葉スマートタウン



スマートタウン
暮らしのエネルギー収支をゼロに

照葉テラス フォレストカーサ



スマートマンション
省・創・蓄エネによるエネルギーマネジメント



完成イメージ図(実写画像に開発予定地域をCG加工しております)

【アイランドシティ 全体概要】

所在地 : 福岡市東区香椎照葉

まちびらき : 2005年

計画人口 : 18,000人

集合住宅 : 2,848戸(竣工)、3,679戸(施工・計画中)

戸建住宅 : 405戸(竣工)、305戸(施工・計画中)

公園緑地 : 中央公園約15.3ha、グリーンベルト約0.8ha(竣工)
はばたき公園約1.2ha、グリーンベルト約5.9ha(計画中)

外周緑地、街区公園、緑道等

事業主体 : 福岡市、積水ハウス株式会社 他

開発面積 : まちづくりエリア191.8ha

居住人口 : 約9,000人

(2018年3月時点)